

## 「『できること』を増やそう」

教諭 丸山 徳子

コロナ禍も2年。ともすると、さまざまなことをあきらめようという気持ちになりがちな今、放送による全校朝会(2/10)で、生徒たちに次のように語りかけました。

皆さんは、自分が赤ちゃんの頃のことを覚えていますか？ 覚えてはいませんよね。

例えば、手を自分の目の前に上げてみて、じっと見つめてみてください。たぶん、皆さんは生まれて数か月たったころ、こんな仕草をして、自分に手があることに気づいたはずです。これは「ハンドリガード」という自分の体を確認する動作だそうです。赤ちゃんが、長い時間じっと手を見つめているのです。初めて見たときは、いったいこの子は何をしているのだろうと思いました。でも、こちらはずっとそれを見ているうちに、「ああ、赤ちゃんは、こんなふうに、自分の体のことを知っていくのか」と思い、神秘的なものを見ている気持ちになり少し感動しました。

そして、手を動かすことを覚え、寝返りができるようになり、座れるようになり、つかまり立ちができるようになり、一人で立てるようになり、歩くことを覚え、今の姿があるのです。「それが人の本能だから」と言ってしまうかもしれませんが、こんなふうに、できることが増えていくことは、すごいことだと思いますか？

私には、子供が二人います。二人とも、もう20歳を過ぎ、家を離れて一人暮らしをしています。でも今でも私は、二人が赤ちゃんだった頃のさまざまな出来事やそのときの自分の思いを、はっきりと思い出すことができます。私には弟や妹がいなかったもので、赤ちゃんのいる暮らしは初めてでした。ですから、特に一人目の子のときは、毎日が緊張と驚きの連続でした。もちろん子供はかわいいのですが、自分が何か失敗したら、この子はどうなるのだろうと、いつもどこかに不安を抱えながら、子育てをしていた覚えがあります。それと同時に、「赤ちゃんってすごいな」と思うこともたくさんありました。

赤ちゃんと一緒に暮らしていて、一番感動したのが、一人で立てるようになるまでの姿です。一人で座れるようになったり、ハイハイができるようになったりした後、何かにつかまって立とうとするようになりました。でも、赤ちゃんはとにかく頭が重かったり、足の筋

肉がまだ弱かったりして、立とうとしても何度も失敗します。見ているこちらは、倒れた拍子にけがをしないかとヒヤヒヤします。でも、こちらのそんな思いをよそに、何度失敗しても、赤ちゃんは挑戦するのです。うまくいなくて泣くこともあります。それでも、立とうとするのです。こんなことを何度も、何日も繰り返して、赤ちゃんはやっと一人で立てるようになります。その時に我が子が見せた笑顔を私は忘れられません。

子供たちのこんな姿を見て、もちろん、わが子が一人で立てるようになったことに感動したのですが、同時に、私は、「人間ってこんなに頑張る力があるんだ」ということに感動しました。私も含めて、誰もがこのように失敗をしながら成長していきます。ということは、「何度失敗しても、できるまで頑張る」という力を、誰もがもっているということではないか。そう思えたのです。「赤ちゃんのすることは、本能だから」という人もいるでしょうが、それだけではない気がします。

誰でも苦手なことがあります。「これができるようになりたい」と思いながら、できるようになるための努力が続かない時があります。皆さんにも、きっと一つか二つは、そんなことがあるのではないのでしょうか。でも、そんなとき、「できない理由」を探していませんか。「おもしろくないから」「必要ないから」「きっとできないから」。こんな言葉で、自分の可能性を狭めていませんか。

皆さんは、これから「自分のできること」を増やして「自分の可能性」を広げることができます。だからこそ、「何度失敗しても、できるまで頑張れる力がある」ことを信じて、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。そして、どんな小さなことでもいいので、「できること」を増やしてほしいと思います。これは、一人の親としての、そして「教員」という立場で皆さんの前に立っている人間としての、私の願いです。

私が小学生の頃、鉄棒の逆上がりがなかなかできずに泣きそうになっていたとき、励ましたり教えてくれたりする友達や親や先生が、周りにいました。皆さんが「頑張ろう」と思って行動すれば、きっと、皆さんの周りには応援してくれる人がいるはずですよ。私も、皆さんの応援団の1人です。ですから、自分の力を信じて、目の前の「苦手なこと」「できるようになりたいこと」に挑戦してみませんか。そして、それを達成して、笑顔を見せてくれることを楽しみにしています。

# ～来年度の板中は任せました！～

## 生徒総会 生徒会役員引継式 委嘱式

1月20日（木）に第二回生徒総会が行われました。第二回目の生徒総会は、全校生徒がiPadを使って学級討議を行い、総会審議も行われました。総会を行った日の翌、21日（金）には、の蔓延防止等重点措置を受け、異学年交流はしばらく行わないこととなりました。



現委員長による、今年度の活動の説明



今年度の活動に対する質問、意見の交換

また、生徒会活動の伝統と同じく、生徒会歌も引き継いでほしいと、2年ぶりに、3年生代表生徒による生徒会歌斉唱を行いました。日々忙しい3年生ですが、音楽科の大原先生と共に練習を進めてきました。生徒会歌を歌えるのは3年生だけです。1、2年生には、何とか生徒会歌を歌い継いでほしいと願っています。



3年生代表生徒による、生徒会歌斉唱



総会審議中の役員

3年生が中心となって取り組んできた生徒会活動の集大成である生徒総会。来年度に繋がる大変有意義な会となりました。「共創～できることを全力で～」のスローガンをもとに駆け抜けてきた令和3年度。今年度の活動を後輩に引き継ぐ「引継式」を、生徒総会に続いて行いました。3年生の雄姿にあこがれ、3年生の最後の目で追う1、2年生の様子が見られました。3年生の思いと一緒に、取組の軌跡、資料ファイルなどが1、2年生の新役員に手渡されました。



新委員長・副委員長委嘱式と、新旧委員長・副委員長引継ぎ式の様子

# ～新春 校内書初め展～ 今年も力作が揃いました

## 1年生「輝く未来」



12月の国語の授業で練習をし、冬休みで磨きをかけてきた書写作品を、今年も校内に展示しました。

国語の授業では、どのクラスでも、真剣に自分と向き合って筆を動かす姿が見られ、冬休み明けの作品を楽しみにしていました。

冬休み明けに提出された作品は、予想以上に力作、秀作ぞろいで、国語科の教員2人で悩みながら審査をしました。

今年の課題は、1年生は、「輝く未来」、2年生は、「温故知新」、3年生は、「初志貫徹」。各学年で、校内書初め展「金賞」を受賞した作品を紹介します。

## 2年生「温故知新」



## 3年生「初志貫徹」



小学校時代から培われてきた、書写を楽しみ、真摯に作品と向き合う姿勢を、これからも持ち続けてほしいと願っています。

## 3年生の卒業プロジェクトはじまる



感謝を伝える「メッセージ」(桜の木作成)



思い出つくる「なかよしこよし」(カードゲーム)

# 輝く栄光

- ◇上越市スポーツ協会 令和3年度優秀競技者賞
  - 3年 SR (県総体陸上競技 女子 800M 第1位)
  - 3年 MT (JOCジュニアオリンピックカップ U16陸上競技大会 男子 100M第5位)
  - 2年 YY (北信越地区空手道選手権大会 中学2年生女子 形の部 第3位)
- ◇第33回読書感想画新潟県コンクール 優秀賞 1年 SA
- ◇第1回箕冠杯バレーボール交流大会 優勝 バレーボール部
- ◇第10回JAMキャラクターイラストコンテスト マンガ部門 準グランプリ 3年 MY



## 板倉地区厚生保護女性会様から

2月17日、板倉地区厚生保護女性会のみなさまから、卒業生に向けて、エチケットケースをプレゼントいただきました。よりよい社会を一緒につくっていきましょうという会の方の思いを、3年生を代表し、OKさん、TIさんがしっかり受けとめました。大切に使用させていただきます。

### 3月の予定

- 3 (木) 公立高校一般選抜学力検査
- 4 (金) 卒業式予行・卒業式準備
- 7 (月) 第75回卒業式
- 11 (金) 公立高校入試合格発表
- 18 (金) 1, 2年生クリーン活動
- 23 (火) 2年生救命救急講座
- 24 (水) 3学期終業式
- 25 (木) 離任式・春休み (~4月6日 (水) まで)
- 29 (火) 生徒会リーダー研修会 (午後)

本年度3月中旬に予定しておりました2年生の修学旅行については、来年度10月に延期することになりました。

※4月5日 (火) 午前  
令和4年度学級発表 (1~3年生登校日)  
4月7日 (木) 午前令和4年度1学期始業式  
午後入学式 の予定です

### コロナ禍での諸対応について

活動場所での換気を十分に行い、一定程度距離を保つこと、マスクの着用、手洗い消毒・うがいを徹底しています。

◎教室はじめ活動場所では、毎時間授業が終わるたびに換気を行っています。

◎異なる学年の生徒が、体育館や図書室を一緒に使ったり委員会や部活動で一緒に集まったりするなどの、異なる学年の交流はしばらく行わないことにしています。

◎「アルコールによる毎日2回の手指消毒」、「歯磨き時のうがいでは、水道の蛇口は間を空けて使用すること」などを実行し、感染拡大防止を生徒に意識付けています。

各ご家庭からは、体温測定はじめ健康観察を徹底いただいたり、学校で生徒に貸与したタブレットの持ち帰りと活用状況をご確認いただいたりするなどのご支援のもと、教育活動をすすめております。また、板倉中学校WEBサイトも併せてご覧ください。

